

第 3 回

と き 昭和36年7月2日(日)午前8時30分開始
ところ 東京都・兩國・日大講堂

關東實業團劍道大会

主催 關東實業團劍道連盟
後援 朝日新聞社
全日本劍道連盟

泰山

大会次第

◇開式

(九・〇〇～九・二〇)

- 1、役員、選手入場・整列
- 2、開会宣言
- 3、国旗掲揚……国歌斉唱
- 4、優勝旗返還
- 5、会長挨拶
- 6、来賓祝辞
- 7、審判長注意
- 8、選手宣誓
- 9、役員着席・選手退場

◇演技

(九・二〇～一六・五〇)

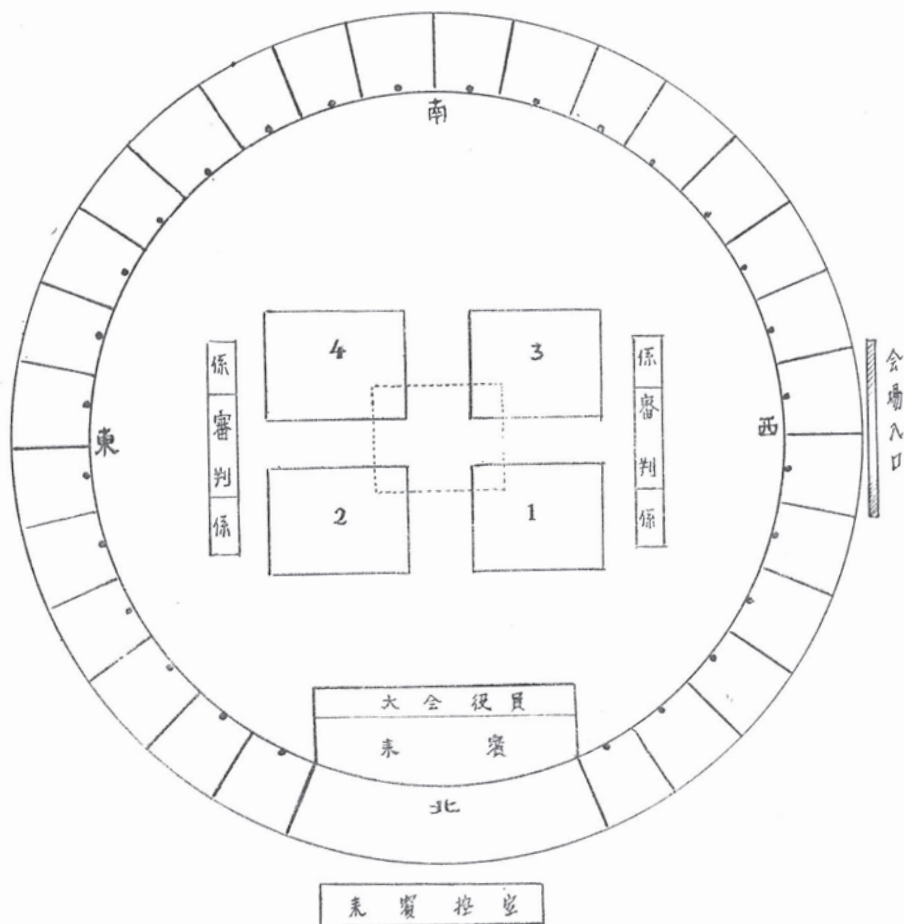
- 1、日本剣道形……………(九・二〇～九・三〇)
- 2、試合(一回戦～二回戦)……………(九・三〇～一五・一〇)
- 3、公開演技……………(一三・一〇～一三・五〇)
- 4、試合(三回戦～五回戦)……………(一三・五〇～一六・一〇)
- 5、準決勝(試合場)……………(一六・一〇～一六・三〇)
- 6、決勝……………(一六・三〇～一六・五〇)

◇閉会式

(一六・五〇～一七・二〇)

- 1、役員選手整列
- 2、成績発表
- 3、表彰
- 4、挨拶
- 5、万歳三唱
- 6、閉会宣言
- 7、役員選手退場

会場見取図



挨拶

関東実業団剣道連盟



会長 加藤 正男

本日茲に本連盟が第三回関東大会を催すに当り、各方面の来賓各位の御臨席を賜わり、近県各地より多数の熱心なる会員諸君の御参加を得て、かくの如く盛大に挙行することを得ましたことに對し皆様の御厚情と御支援とを厚く御礼申し上げます。

連盟発足以来既に三年……第一回の参加が44チーム、第二回が66チーム、今回は更に増加して73チームの精鋭が一堂に會してこの大会の幕をあける次第であります、これは偏えに各方面における剣道愛好者諸氏の御援助のたまものであります、衷心より感謝致す次第であります。

幸にして漸やく剣道復活のさざし著しいものがあります時、社会の中堅を担う実業人の間に、一人でも多くの同好者を増加することこそ当連盟の念願であり、会員各人の責任で

あるとも考えます。

どうぞ憂慮に堪えない昨今の世情……ただ自らの楽しみリクレーションといふことのみにとどまらず、よく天下国家の爲にもこの道を広めることに努力されんことを切望致します。

毎年一回の関東大会、又、秋の全国大会こそ、日頃は各地に散在する同志が一堂に會して友好を固め、平素修練の精を示しあうと共に、又明日の爲に一段の英気の充實をはかる貴重な機会であります。

どうか本日の大会も日頃錬磨の妙を遺憾なく發揮せられ、勝つことも、負けることも凡てが勉強で修養であることを、身を以て如実に示されんことを期待いたします。

終りに臨み、当大会開催に關し特に御高配を賜りました各方面の有力な御後援に對し連盟を代表して深甚なる謝意を表します。

又朝日新聞社及び全日本実業団また全日本剣道連盟におかれましても前回に引続き特別なる御援助を下さいましたことに對し厚く御礼申上げる次第であります。

どうぞこの一日、当館一杯に気品あり、秩序ある実業人剣道の精華が華々しく展開されることを期待して御挨拶と致します。

(順不同)

朝日新聞東京本社運動部長	朝日新聞東京本社企画部長	朝日新聞東京本社常務取締役	片岡電氣株式會社社長	若林電氣株式會社社長	雪印物産株式會社取締役	株式會社山本海苔店社長	安田火災海上保險株式會社社長	株式會社明電舎社長	三菱重工業株式會社社長	三井船舶株式會社社長	三井金屬工業株式會社社長	三井精機株式會社社長	株式會社三井銀行取締役	保土ヶ谷化學工業株式會社社長	株式會社平和相互銀行取締役	古河電氣工業株式會社取締役	古河鋁業株式會社社長	富士重工工業株式會社社長	株式會社富士銀行取締役	ピクターオート株式會社社長	日野自動車工業株式會社社長	株式會社日立製作所取締役	株式會社日立製作所社長	野田醬油株式會社取締役	日本國民食株式會社社長	日進畜產工業株式會社社長	日興証券株式會社社長	日産自動車株式會社社長	日本郵船株式會社社長		
杉奈多喜一	衣島八州男	矢島八州男	片岡信直	若林伸一郎	松沢儀一	山本恵造	檜垣文市	尾山和勇	重宗雄三	伊東保二郎	柴田周一吉	中谷一雄	李家保孝	高一井俊造	松方正信	児玉幸藏	菅原栄一	斑目広一	新海英一	吉田孝雄	船津真次	藤久保正一	大久保寛一	兒玉主務郎	倉田啓三	茂木権治	牧野淹岳	鈴木岳三	吉野克二	川又新甫	浅尾新甫

日新

中村太郎	緒方惟敏	長崎稔	大谷太応	松尾延夫	大平康	檜山昇	望月正房	大久保信夫	清水保次郎	横山永十	河島嘉
------	------	-----	------	------	-----	-----	------	-------	-------	------	-----

審判

阿部三郎	森島健男	丸山義一	滝沢光三	棚谷昌美	工藤一	鈴木恒雄	鈴木幾雄	逸見和夫	高田政信	片桐昌七	佐土原勇	石関進
------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	-----

鋭精を削る鍋

73チームの横顔

【順序は1試合場から】

日本鋳業(日立)

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
六十嵐	石川	本多	田崎	水戸部	木村	富田
浩	順二	利夫	達雄	浩	耕一	正二
39	33	30	33	23	21	47

日本銀行

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
三角	三角	新山	萱野	中島	遠藤	飯田
照明	照明	審一	安男	啓一	晃規	岩吉
44	44	41	32	34	36	42

石川島芝浦タービン

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
荻野	山本	菊地	貫井	目黒	石井	石井
秀雄	一夫	一雄	真二	真二	栄一	栄一
43	43	19	38	23	19	19

日本郵船

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
高梨	山田	山田	大谷	泉	谷川	大森
正夫	節郎	秀哲	幸雄	雄	昭雄	信
48	47	33	35	34	34	37

ビクターオート

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
岩切	太田	鹿島	鮫島	田中	吉野	田村
純秀	三郎	賢司	興三	敬士	正則	富二
41	33	39	43	41	29	31

東京芝浦電気(本社)

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
押原	山下	里吉	田中	岩瀬	小山	渡辺
一郎	重臣	忠孝	靖彦	誠	堯	堯
46	32	23	23	22	21	21

古河電工

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
鈴木	鈴木	西木	齋藤	山中	小池	荒井
康治郎	康治郎	邦雄	桃三郎	晋市	秀雄	立雄
43	40	48	48	25	44	44

キッコーマン

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
荒木	三木	実叔	齋藤	遠藤	安田	山崎
英次郎	一雄	繁	達夫	正春	昭次郎	茂
47	40	24	20	22	21	35

日野自動車

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
平原	土淵	関口	平岡	吉沢	源平	君野
力	英夫	誠	佑介	章和	照雄	弘定
47	44	36	26	26	19	22

味の素(川崎)

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
小笠原	青木	小野	渡辺	平川	長尾	瀬尾
良雄	良平	定雄	正明	忠雄	貞紀	圭一
43	37	39	18	18	21	18

朝日石綿工業

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
後藤	後藤	村松	川口	矢島	堀田	一瀬
義雄	義雄	和男	貞夫	博	秀雄	保
45	45	48	19	32	19	44

三菱地所

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
河野	小林	片倉	花岡	山崎	辻	欠
吉通	芳之助	辰男	祥博	二三男	正	正
32	40	40	21	19	23	23

日立製作所(東京)

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
石川	柿内	田村	杉山	尾花	小林	山根
正晃	宏敏	幸与	大司	利昭	徹	徹
50	35	29	24	20	19	40

日本電気(玉川)

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
高橋	香西	山川	渡辺	齋藤	根本	橋本
一美	照雄	一夫	晃志	勳	喜代孝	喜代孝
37	20	20	22	21	16	24

杉田製線

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
沢井	沢井	杉井	渡辺	渡辺	片桐	柳沢
岩吉	岩吉	岩吉	光治	達良	利和	文吉
47	47	43	47	36	28	46

東部通信工業

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
古関	今井	藤木	古関	橋本	沢間	新井
幸平	昭雄	行芳	実	貞治	淳男	忠男
54	47	40	29	23	22	38

日進畜産工業

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
武田	武田	小林	岡田	星隆	横田	吉沢
修一	修一	俊介	陸夫	重	忠雄	春治
30	30	24	20	20	20	26

日本国民食

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
牧野	小野	小林	広川	栗山	安齊	武則
権一	直博	康男	正治	修一郎	則	則
60	30	26	53	24	24	24

日立電線

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
前田	星武	羽賀	山崎	前田	山本	長々保
豊治	武夫	正紀	未美	国雄	光司	宏
48	41	19	20	20	17	20

三井船舶

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
佐藤	田村	三好	西上	岡本	松岡	松下
克己	義文	寛三	敬三	秀三	博兒	博兒
47	41	35	37	33	40	36

三井精機

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
高柳	下重	谷川	鈴木	野本	沢田	山崎
昭次	昌弘	恒夫	岩一	篤弘	良一	貴
50	36	23	52	34	31	38

東芝ランジスタ

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
箭野	井上	斎藤	木村	鈴木	小沼	中山
誠	輝之	一男	徳義	栄一	正宏	清治
50	23	21	21	21	20	18

清水建設

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
鶴見	山崎	朝倉	栗山	小嶋	柳原	横山
誠	滋造	徠	淳一	昭二	隆司	俊明
61	42	47	38	34	20	24

川崎製鉄(千葉)

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
津田	梅本	泉水	山部	稻元	沢宮	二宮
昌一	政水	誠	良一	幸男	公雄	久雄
39	38	37	40	35	34	36

平和相互銀行(巢鴨)

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
大平	豊島	青柳	浅野	川瀬	川上	広田
康	敬	忠	裕	能男	一夫	宏二
42	37	22	23	19	18	21

日本鋳業(本社)

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
五十嵐	阿部	本多	菅波	高野	門馬	井上
浩	利雄	国雄	一元	洋子	規矩雄	三郎
39	37	34	19	18	19	20

片岡電気

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
山地	南和	兼田	久保	原田	島田	田
裕之	彦	慶造	武則	次郎	敏	敏
26	23	23	18	18	18	21

第一生命

監督 五段	谷 徹	53
大將 七段	三浦 泰治	54
副將 五段	磯部 雄哉	27
中堅 三段	村勢 楠太郎	39
先鋒 三段	兜木 総一	40
先鋒 四段	鈴木 章治	40
補欠 二段		

日本通運本社

監督 三段	三島 隆雄	45
大將 五段	和田 浩嗣	23
副將 五段	藤田 博三	22
中堅 三段	北野 良夫	23
先鋒 四段	熊谷 一義	23
先鋒 五段	矢上 誠徳	22
補欠 四段	曾根 誠	23

朝日生命(丸の内)

監督 教士	大村 富士夫	63
大將 三段	田畑 俊雄	18
副將 三段	岩田 俊雄	22
中堅 三段	岩崎 勝利	19
先鋒 三段	緑川 勝	22
先鋒 二段	鈴木 輝	20
補欠 初段	荻野 宗次	22

日立製作所(本社)

監督 五段	菱田 忠夫	51
大將 四段	西村 肇生	26
副將 六段	佐藤 伊哉	35
中堅 六段	厚母 太郎	40
先鋒 四段	太田 伍郎	22
先鋒 四段	小川 榮男	24
補欠 五段	石野 孝男	38

平和相互銀行(本社)

監督 六段	福山 清隆	40
大將 三段	蔭山 盛久	21
副將 三段	和田 幸男	20
中堅 三段	渡辺 昇	20
先鋒 三段	我妻 護	20
先鋒 二段	戸田 一	20
補欠 二段	上村 明生	21

日本鋼管(川崎)

監督 五段	松久保 一実	44
大將 七段	佐藤 圭作	45
副將 六段	角田 利生	42
中堅 六段	土屋 米太郎	37
先鋒 五段	樋口 宗則	32
先鋒 五段	樋高 野市	36
補欠 二段		

朝日剣友会

監督 五段	伊藤 衆三	54
大將 四段	山下 幸勇	31
副將 三段	大迫 正幸	30
中堅 三段	渡辺 茂次	40
先鋒 二段	鈴木 治夫	21
先鋒 二段	中野 義次正	21
補欠 二段	田村 義雄	35

高崎製紙

監督 教士	中山 秀雄	44
大將 六段	高津 進	45
副將 六段	中野 榮	39
中堅 五段	角田 庚	52
先鋒 四段	北条 勝将	35
先鋒 二段	高野 太吉	22
補欠 二段	小林 桂一郎	26

富士重工業(三鷹)

監督 五段	油井 要蔵	47
大將 六段	藤橋 芳雄	45
副將 五段	清水 三四七	39
中堅 五段	吉岡 勝利	37
先鋒 四段	椎名 村司	38
先鋒 五段	川上 和泉	38
補欠 五段	油井 要蔵	47

東横百貨店

監督 六段	山口 彰市	35
大將 四段	佐藤 功男	23
副將 五段	大沼 三喜	22
中堅 五段	鶴野 寿夫	23
先鋒 三段	佐藤 祐吾	20
先鋒 二段	関谷 恒	20
補欠 二段	中田 茂実	21

電通会

監督 五段	石黒 律郎	36
大將 五段	片桐 保之	37
副將 三段	貝塚 欽哉	39
中堅 五段	石黒 律郎	36
先鋒 三段	三須 正夫	29
先鋒 三段	岩田 幹夫	28

東洋レイヨン(三島)

監督 七段	野口 英夫	50
大將 三段	勝又 衛	21
副將 三段	飯塚 才司	20
中堅 三段	山形 泰一	19
先鋒 三段	近藤 泰一	24
先鋒 三段	佐々木 和男	19
補欠 三段	花田 孝司	19

日立製作(多賀)

監督 教士	菊地 辰雄	39
大將 五段	柏田 五郎	43
副將 教士	菊池 辰雄	39
中堅 三段	島田 勇一	20
先鋒 三段	鈴木 木	18
先鋒 三段	久保 次保	18
補欠 三段	永作 嘉男	18

横浜護謄

監督 初段	大川 知治	44
大將 六段	長谷川 俊雄	40
副將 五段	徳川 豪英	38
中堅 三段	岩見 幸夫	21
先鋒 二段	香山 輝男	23
先鋒 二段	吉田 祐祐	23
補欠 二段	高橋 富夫	21

第一証券

監督 五段	斎藤 和夫	38
大將 五段	斎藤 和夫	38
副將 四段	長尾 英宏	43
中堅 四段	高木 裕康	25
先鋒 三段	郷家 勝之	23
先鋒 四段	笹生 達浩	24
補欠 三段	中島 誉一	23

東芝電気(鶴見)

監督 三段	五味 久蔵	46
大將 四段	高橋 英治	44
副將 四段	杉本 豊吉	48
中堅 四段	小笠原 信行	38
先鋒 三段	内田 正司	37
先鋒 三段	阿部 富雄	35
補欠 三段	工藤 澄生	35

大成建設

監督 五段	鈴木 孝太郎	56
大將 五段	五反田 栄一	37
副將 四段	矢口 珍彦	34
中堅 四段	今吉 清一	35
先鋒 三段	牛島 昭夫	33
先鋒 四段	千葉 信雄	26
補欠 三段	酒井 春雄	36

鹿島建設

監督 五段	大井 良知	50
大將 六段	金子 成克	41
副將 五段	村上 鉄二	36
中堅 三段	星野 弘	23
先鋒 三段	島田 稔	19
先鋒 四段	福武 尚徳	19
補欠 四段	福武 豊郎	23

塚本総業

監督 教士	岩崎 豊晴	60
大將 教士	伊賀 豊一	52
副將 四段	片岡 信聖	21
中堅 四段	大津 利夫	26
先鋒 三段	磯村 光洋	20
先鋒 四段	若林 義彦	23
補欠 教士	岩崎 豊晴	60

朝日生命(研修所)

監督 五段	山本 欽次	55
大將 教士	森山 亮佑	45
副將 五段	酒井 守男	24
中堅 五段	鎌田 吉郎	24
先鋒 四段	大家 伸夫	23
先鋒 五段	降矢 章成	22
補欠 二段	漸井 利夫	24

三菱銀行

監督 七段	佐川 博男	45
大將 六段	掛川 修市	39
副將 三段	野口 憲二	46
中堅 三段	土屋 恵則	23
先鋒 二段	岡田 務	21
補欠 二段		

日興証券

監督 教士	伊得 秀吉	55
大將 教士	伊得 秀吉	55
副將 四段	戸谷 好夫	22
中堅 五段	森本 征昭	23
先鋒 四段	林 正修	24
先鋒 四段	白石 藤次郎	23
補欠 五段	白石 仲吾	47

朝日生命(本社)

監督 教士	岡本 正之助	55
大將 教士	岡本 正之助	55
副將 教士	山田 好数	40
中堅 教士	友部 美智子	40
先鋒 教士	大井 幸枝	37
先鋒 教士	野本 稔生	23
補欠 二段	高橋 久志郎	31

安田火災海上

監督 六段	岩田 長	48
大將 六段	三沢 正	52
副將 六段	石崎 巖	47
中堅 六段	榎本 和男	46
先鋒 二段	鶴見 正一	41
先鋒 二段	鶴見 正一	31
補欠 二段		

味の素(本社)

監督 六段	浅川 正光	45
大將 教士	小笠原 良雄	43
副將 教士	浅川 正光	45
中堅 教士	林 輝男	34
先鋒 二段	阿部 三郎	30
先鋒 初段	瀬尾 圭一	18
補欠 初段		

石川島播磨重工業

監督 四段	榎本 敏彦	46
大將 五段	佐藤 善九郎	38
副將 四段	飛田 仁一	36
中堅 四段	佐藤 義蔵	36
先鋒 二段	高橋 駿一郎	23
先鋒 二段	佐久間 定之	19
補欠 二段	龜山 智孝	20

東洋高圧(千葉)

監督 五段	河野 博	40
大將 五段	堀道 男	37
副將 三段	原田 稔	33
中堅 四段	古賀 善記	34
先鋒 四段	小山 孝志	31
先鋒 二段	野口 昭義	33
補欠 五段	野口 勝也	35

千代田化工建設

監督 七段	室井 正基	53
大將 六段	野正 豊稔	34
副將 六段	小柳 喜三郎	34
中堅 五段	福島 正昭	22
先鋒 五段	渡部 昭	33
先鋒 四段	松田 光明	21
補欠 六段	乙川 幸一	49

講談社

監督 七段	望月 正房	48
大將 七段	林正 久	53
副將 五段	南雲 春雄	48
中堅 五段	吉田 義雄	37
先鋒 四段	大沢 春美	39
先鋒 四段	高橋 邦夫	35
補欠 六段	岩崎 清七	44

ゼネラル物産

監督 四段	堀 隆男	27
大將 五段	大谷 忠敬	23
副將 四段	堀 隆男	27
中堅 二段	伊藤 嘉雄	26
先鋒 三段	小林 尋次	24
先鋒 二段	寺田 祥二	23
補欠 二段	大森 道生	26

過去の戦績

- 第1回 優勝 東横百貨店 2位 朝日生命
3位 古河鋳業と平和相互
(昭和34年6月7日.....於中央道場)
- 第2回 優勝 東横百貨店 2位 シモン皮革
3位 日本通運と日立製作
(昭和35年7月3日.....於中央道場)
- 第3回 優勝 は？
(昭和36年7月2日.....於日大講堂)

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
鎌士	鎌士	四段	三段	三段	三段	三段
高田	風間	沢海	永山	沼田	小池	岩月
正久	十弘	明幸	国二	好隆	邦夫	
48	39	21	18	20	18	19

日立製作(日立)

MEMO

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
渡辺	神原	高善	倉賀	伴野	鶴野	鈴木
吉孝	敏夫	実夫	富雄	幹雄	税雄	鈴木
48	44	38	19	41	18	37

東京電力

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
齊村	島尻	土沢	佐藤	村上	奈良	北島
龍雄	松雄	勝義	竹志	昭次	勝美	靖生
51	45	41	40	33	32	33

古河鋳業

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
川島	工藤	伊藤	塚野	鏡野	稻垣	三村
為幸	能己	隆幸	国男	尊信	茂義	勝己
50	39	27	39	35	20	39

東芝商事

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
守田	守田	福岳	市成	井上	須藤	石村
由太郎	由太郎	次郎	義治	雅焉	弘治	弘治
46	46	38	32	20	18	24

三井銀行

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
中島	龜井	依田	西村	松本	福田	稻村
定蔵	一雄	貢一	雄幸	三男	孝之助	孝之助
56	30	34	32	30	34	38

日新製糖

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
下川	高橋	鯨井	脇坂	中野	佐藤	沼上
漢一	浩二	優直	元彦	弘正	久夫	久夫
40	33	35	24	19	23	24

第一銀行

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
内藤	柿内	土屋	村上	鈴木	武井	長谷川
鎮司	正吉	芳一	国功	昭功	昭功	昭功
54	35	33	18	18	18	22

日本通運(東京)

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
榎屋	諸橋	佐藤	小菅	二川	大畑	大月
治郎	留次	良吉	秀夫	福男	啓治	久利
58	42	49	42	36	19	39

富士銀行

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
八巻	八巻	草刈	菅原	渡部	大貫	大貫
丑蔵	丑蔵	和夫	弘夫	尙見	久次郎	信雄
52	52	37	33	34	31	31

旭硝子(鶴見)

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
高田	利岡	針金	岡田	照井	笹田	内田
稔	和人	庸夫	吉之助	寅雄	隆三	隆三
32	46	49	44	35	24	42

シモン皮革

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
石田	飯島	根本	仁多	鈴木	岡野	井出
周一	照人	一彦	博彦	忠夫	直人	直人
53	34	27	42	34	18	40

日本軽金属

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
香川	桜庭	野村	鈴木	柄本	熊木	名田
重雄	庄市	甲子雄	一繁	誠治	堅太郎	堅太郎
37	40	38	39	32	18	32

三菱化成

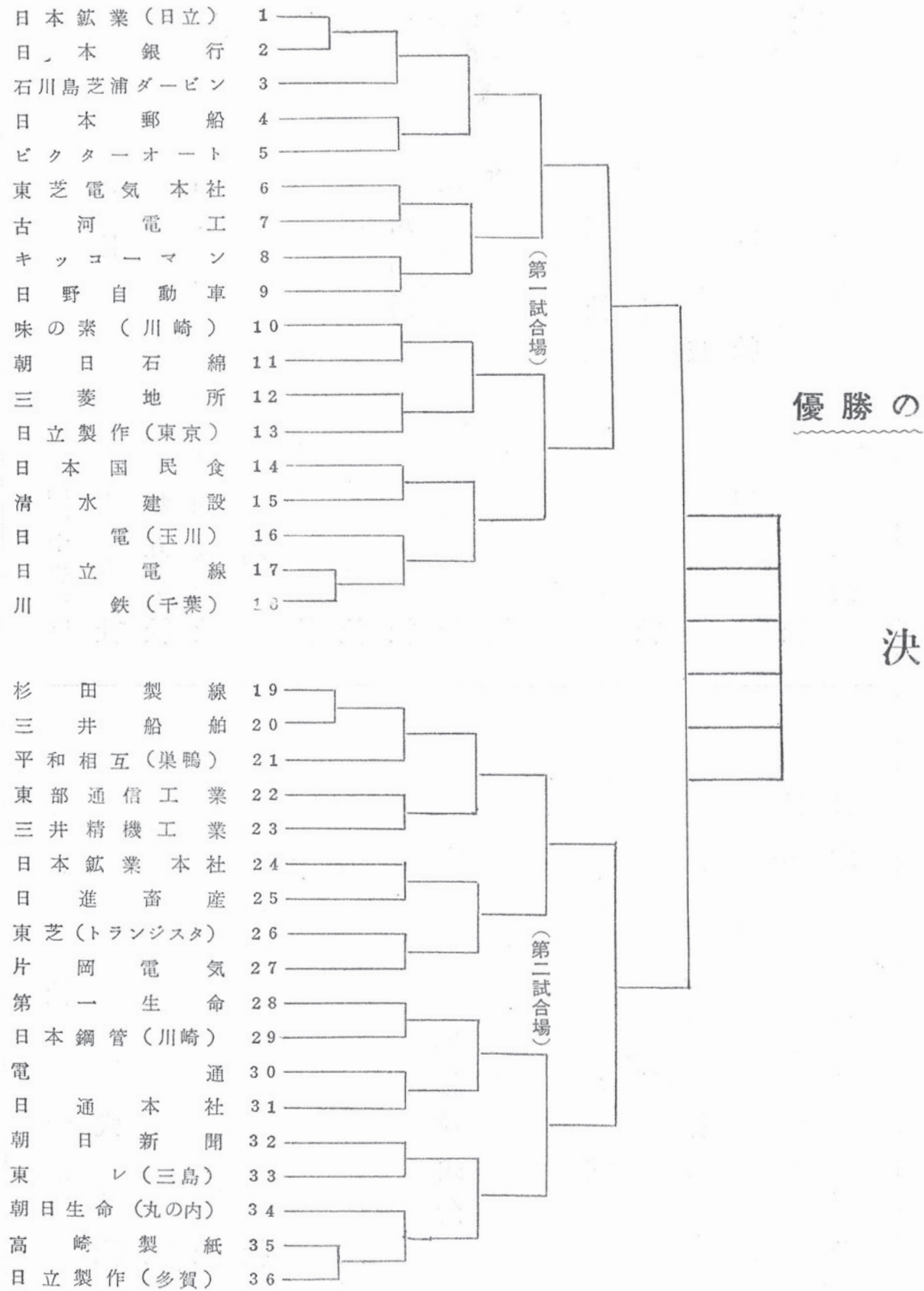
監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
栗林	時田	高野	佐々木	望月	相原	入江
二郎	茂穂	徳司	久司	錦一	伊三夫	祥之
45	40	43	38	40	38	25

日産自動車

監督	大將	副將	中堅	次鋒	先鋒	補欠
葛葉	吉田	黒川	早野	光藤	塚原	小林
正一	忠幸	明宥	慎三	元哉	良次	弘和
55	46	19	32	25	19	29

日本火災海上

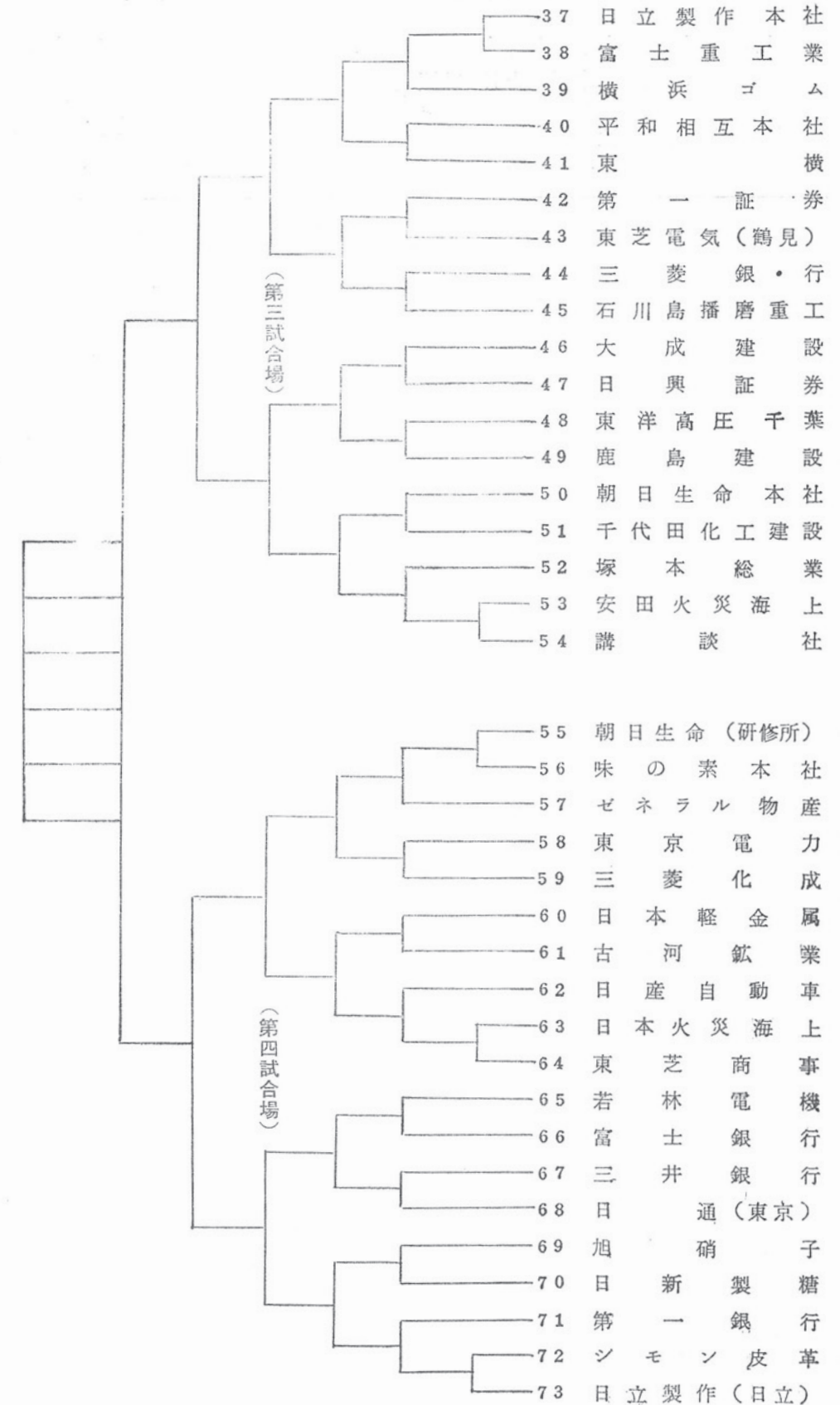
トーナメント



戦一覧表

栄冠は？

勝



関東実業団剣道大会

参加会

日本鋳業株式会社
日本通運株式会社
日本電気株式会社
日本火災海上保険株式会社
日本郵船株式会社
日産自動車株式会社
日興証券株式会社
日進畜産工業株式会社
日本国民食株式会社
野田醬油株式会社
株式會社日立製作所
日野自動車工業株式会社
ビクターオート株式会社
株式會社富士銀行
富士重工業株式会社
古河鑛業株式会社

古河電気工業株式会社
株式會社平和相互銀行
株式會社三井銀行
株式會社三井銀行
三井精機工業株式会社
三井船舶株式会社
三菱地所株式会社
三菱化成工業株式会社
横浜護謨製造株式会社
安田火災海上保険株式会社
若林電機株式会社
日立電線株式会社
本大会に御出場いただき御
協力をたまりました73チ
ームの本社名のみを掲載さ
せていただきました。剣道
部の発展と共に社運の御伸
展をお祈りいたします。

の御盛會を祝す

社一同 (社名は五十音順)

朝日新聞東京本社
朝日生命保険相互会社
朝日石綿工業株式会社
旭硝子株式会社
味の素株式会社
石川島芝浦タービン株式会社
石川島播磨重工業株式会社
川崎製鉄株式会社
鹿島建設株式会社
片岡電気株式会社
株式會社雄弁會講談社
清水建設株式会社
シモン皮革株式会社
株式會社杉田製線工場
ゼネラル物産株式会社
才一生命保険相互会社

株式會社才一銀行
才一証券株式会社
大成建設株式会社
高崎製紙株式会社
千代田化工建設株式会社
塚本総業株式会社
株式會社東横百貨店
株式會社東芝商事株式会社
東京芝浦電気株式会社
東部通信工業株式会社
東洋レーヨン株式会社
東京電力株式会社
東洋高圧工業株式会社
日新製糖株式会社
日本鋼管株式会社
日本輕金属株式会社



のびゆく...

みなさまの **第一生命**

- 第一生命は、明治35年9月に創立者矢野恒太の主唱によって、わが国最初の相互組織の会社として設立されました。社名の「第一」という名は「最初の」という意味であります。
- その後今日まで60年、「社員」であるご契約者みなさまの利益を第一として、「量より質」「确实 低廉 親切」を標語として経営してまいりました。
さいわい、みなさまのご理解とご支援をいただき、業績は発展の一途をたどっております。
- 昭和35年度も、きわめて好調な業績をあげ、本年度は、剰余金の94%に当る61億5,914万円を配当準備金に繰入れました。
その結果、本年度の正味掛金はさらにお安くなりました。

主要製品名

掛時計・目覚時計・置時計

写真機用シャッター

株式会社 服部時計店工場

精工舎

東京都墨田区太平町4丁目2番地

電話 東京 (622) 代表 1151-6
代表 3101-7